

学級活動指導案

1. 日時・場所 平成25年11月21日(木) 第5校時(13:50~14:35)
体育館
2. 学年・組 第 学年 組
3. 題材名 逆転時間ワークショップ(全2時間)

4. 題材について

(1) 児童の実態

この学年の児童は、昨年度より「失敗を恐れてしまう」ことが大きな課題であることを指摘されていた。失敗を恐れてしまうために、自分の意見が主張できず、授業などの学級における様々な活動が消極的になってしまうことが危惧された。そのため、本学級では4月から蒔田晋治の詞「教室はまちがうところだ」を読み、学級での様々な活動を通して「失敗しても大丈夫」という雰囲気作りに努めてきた。6月には、児童が「ドンマイ」「ほめちぎる」「チャレンジ」「オリジナル」という4つのキーワードを学級目標に設定した。これらには「失敗を恐れずに進んで挑戦していこう」という想いが込められている。

二学期では、今日に至るまで運動会や全校音楽集会など大きな行事を乗り越えてきた。大きな行事がある際には、学級目標を基に行事のための目標を立てる。そして事後には振り返りを行っている。現在は、「二学期の終わりにクラスがどのようになっていたか」というテーマで目標を立てたものを活動の指針にしている。愚直な取り組みによって、学級目標は児童に着実に浸透してきているように思う。

授業における話し合いでは、発言力を持つ児童が話を進めてしまうということが度々あった。本学級には、まだまだ自分の意見をうまく伝えられない児童が多く居る。学年末には全員が自分の意見に自信をもって表現出来るよう、多面的で段階的な指導が必要であると考えている。

(2) 題材設定の理由

青山学院大学社会情報学部の協力の下、iPadアプリ「逆転時間」を用いた「逆転時間ワークショップ」を行う。「逆転時間ワークショップ」は、2008年度キッズデザイン賞コミュニケーションデザイン部門を受賞したワークショップである。撮影した動画を逆再生すると、日常では有り得ないような動きが可能になる。非日常のおもしろさを生かす作品づくりを行う。活動を通じて、グループで一つの作品をつくり、身体で何かを表現してみたりすることで、児童のコミュニケーション力、自己表現力を引き出していくことを目的としたワークショップである。

iPad、および逆転時間アプリの操作は非常にシンプルで、直感的に行うことが可能である。また、今日では多くの家庭がスマートフォンやタブレットPCなどのiOS端末及びAndroid端末を所持している。本学級の児童もそれらを活用し、ミュージックビデオを観ながらダンスの練習をしたり、ゲームで遊んだり、普段から操作には慣れているようである。そのため、作品づくりの上での試行錯誤をどんな児童も容易に行うことが出来ると考えられる。

失敗してもすぐにやり直すことができ、失敗こそが作品づくりのヒントになる可能性が大いにある。この題材を通して、失敗を恐れずに主体的に参加する態度を育んでいきたい。

5. 題材目標

友だちと協同で作品づくりをし、作品をつくる「おもしろさ」を通して、物事に主体的に関わり、積極的に自分の意見を発することが出来る態度を育む。

6. 指導計画（全2時間）

時間	主な学習内容
第1時	<ul style="list-style-type: none">○ 学習のめあてをもつ。○ 逆転時間を知り、見本を見る。○ 逆転時間の撮影を練習する。○ めあてを再確認し、これからの見通しをもつ。○ iPad を使って班ごとに作品を作る。○ 次時の見通しを持つ。
第2時 (本時)	<ul style="list-style-type: none">○ 学習の見通しを持つ。○ iPad を使って班ごとに作品をつくる。○ 作品を発表し合う。○ 学習を振り返る。

7. 本時について


(1) 本時のねらい

作品づくりを通して、友だちと協力して試行錯誤を繰り返しながら、活動に対して主体的に関わる態度を育む。

(2) 準備

iPad (班に1台)・VGA ケーブル・大型テレビ・電源ドラム

(3) 本時の展開 (2 / 2)

時間	学習内容と活動	教師による支援・指導
5分	1. 学習のめあてを確認し、見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容と時刻を予め伝え、見通しを持って活動に臨むことが出来るようにする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">友だちと協力して、作品をつくろう。</div> 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと協力する手立てとしての「話し合いのルール」を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 「いい。」と思ったらやる! みんなが同じだけ話せるようにする。 </div>
25分	2. iPad を使って班ごとに作品をつくる。 (1) どのような作品にするのか相談する。 (2) 作品を撮影する。 (3) 撮影した作品を確認する。 (4) 必要があれば作品を撮り直す。	<ul style="list-style-type: none"> 班に一台ずつ iPad を渡し、(1)から(4)までを自由に試行錯誤出来るようにする。 撮影の場所は各班で自由に選択出来る。 安全に行うことが出来るようにする。 「魔法」や「超能力」などの言葉を使い、逆転時間ならではの作品をつくれるような声掛けをする。
15分	3. 作品を発表し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 作品タイトルとアピールポイント(見てもらいたいところ)を告げるようにする。 作品を見て、思ったことや気付いたことを話し合う。 4. 学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> 班ごとに、めあてに対して、自分がどの程度達成できたのか、そしてその理由は何かを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級目標の「ほめちぎる」を意識させ、他班の良いところを積極的に見つけられるようにする。